

病院の新たな経営戦略

開催日

2015.6.12 [FRI]

主催：第17回日本医療マネジメント学会学術総会

会場：グランキューブ大阪 - 大阪国際会議場 -

参加費：詳しくはホームページをご覧ください。

運営：株式会社コンベンションアカデミア

TEL:03-5805-5261 FAX:03-3815-2028

第17回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ <http://coac.jp/jhm2015/>

時間：12:00 - 13:00

会場：グランキューブ大阪 - 大阪国際会議場 -

H会場 ランチョンセミナー

講演：注射薬・医療材料の自動読取装置

SPASER® を用いた請求漏れ対策

参加費：無料



講師

杉町 圭蔵

おんが病院・おかがき病院 統括院長

1963年 九州大学医学部 卒業

1985年 九州大学医学部第二外科 教授

1995年 九州大学医学部 部長

1997年 日本癌治療学会 理事長

1998年 日本外科学会 会長

2002年 九州中央病院 院長

2010年 おんが病院・おかがき病院 統括院長

学術総会

事前参加申込期限

5.8 [FRI]

使用済みの医療材料を 独自の技術で正確に管理。

1. コスト解析と経営改善

経営者 向けメリット

SPASER システムの導入により、材料を正確に管理し、あらゆる角度からコストの解析や検証が可能となります。さらには請求漏れを防止し、病院経営の健全化を可能とします。

2. 業務軽減

手術室看護師 向けメリット

手術後の看護師による材料の管理を SPASER システムが担います。それにより、入力作業などの時間を大幅に短縮します。

3. リスクマネジメント

薬剤管理者・医事請求課 向けメリット

どのような注射薬も正確に自動で読み取ることができ、薬剤管理の精度が向上します。また、実施情報を自動で画像記録します。



SPASER - 使用済注射薬 自動認識システム -

SPASER は手術で使った薬剤の種類や数を自動的に識別して記録する装置です。看護師らの手術中の記録作業を効率化し、記録漏れに伴う保険の未請求を防ぐ効果もあります。使用済注射薬を装置に投入し、バーコード読み取り・ラベル認識画像処理により使用済注射薬の識別・カウントを行い、カウントデータをデータベースに記録。記録したカウントデータは付属のパソコンに入っているアプリケーションにより、閲覧・帳表印刷可能です。